

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年7月20日 NO.15(113)

楽しい夏休みを！『むじこ』で『えがお』で！

4月6日よりスタートした1学期。本日無事にの終業式を迎えることができました。これも保護者・地域の皆様方のご協力とご支援と、心より感謝しております。校長として4年目となり、子供たちのために一生懸命に職務に専念してきたつもりではありますが、まだまだ至らぬ部分も多々あったかと思えます。今後は、2学期に向けてしっかりと研修・研鑽に励み、国立第七小学校の子供たちの豊かな心の育成と、確かな学力の伸長を目指しさらなる努力をして参ります。

終業式では、学習や生活の様子を記した「あゆみ」についてお話ししました。また、担任の先生が一人一人に心を込めて書いた所見について、代表数名の成長した事や努力した様子について紹介させてもらいました。「あゆみ」を各ご家庭でよく見て頂き、記された努力の成果を褒め認めると共に、来学期への励ましの言葉をかけてもらえるよう、よろしくお願ひいたします。

明日より42日間の長い休みとなります。楽しい夏休みを過ごしてもらうために、「安全」と「きけん」についてお話ししました。健康に留意し、『むじこ』で安全な夏休みを過ごしてほしいと思います。そして、9月1日（木）には、一段とたくましく成長した『えがお』の子供たちに会いたいと願っています。

自主公開授業の花盛り

7月16日（土）の国立七小。あちこちのクラスで自主的に授業公開を行いました。年間数回の学校公開がありますが、それとは別に、担任の先生の『子供たちの成長を見てください』との思いの表れでしょう。学習進捗の関係から今回はできなかったクラスもありましたが、先生方の熱い思いを大切に、今後も国立七小では自主公開授業を推進して参ります。乞うご期待！

見守り会の方より

国立七小見守り会員であり、下谷保老人会永楽会の会長もされており、さらに、運動会や学芸会などで国立七小専属カメラマンとしてもたくさんお世話になっている『平石春夫さん』が老人会会報誌に『国立七小見守り会に参加して』という小論をお書きになられましたので、紹介いたします。

私は七小見守り会に参加している一人です。日曜、祭日、土曜を除く毎朝、児童の登下校の見守りを続け、事故や痴漢から守ってあげたいと思っています。見守りをやって感じたことは、皆、元気よくあいさつをし、登校する頼もしい姿は素晴らしいです。また、姿が見えないと風邪でもひいたのかなど老婆心で心配したりしています。それと同時に成長していく姿は目を見張るものがあり、これからの時代を背負っていってくれと信じています。これからも見守りを老骨に鞭うって続けていくつもりです。

自転車安全ヘルメットの着用を！

警視庁のホームページを見ると、12才以下の児童をもつ親には、ヘルメットをかぶらせるように努めることとされています。八王子市や青梅市では、ヘルメット着用の助成金制度があります。避難訓練の時に毎回言っているのは、「あいことばはいのちをまもるはんかち」という言葉です。同じように、「いのちをまもるへるめつと」という言葉も合い言葉にしたいと思います。合い言葉あは愛言葉に通じます。かわいい大切なお子様の命を守るために、ヘルメット着用を何卒宜しくお願ひいたします。

防犯ブザーの確認を！

1年—100、2年—80、3年—80、4年—35、5年—55、6年—30。何の数字かわかりますか。これは、国立七小の児童が安全ブザーを携帯している%・割合です。安全ブザーは入学時に国立市より支給されますが、その後は保護者が電池交換したり、買い替えたりするようになっています。高学年になるに従い、その割合が低くなっている現状があります。夏休みに安全ブザーの点検チェックをよろしくお願ひします。「あいことばはいのちをまもるぼうはんぶざー」です。